

令和2年 11 月

## 検査容器（T14）変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目の検体採取容器（容器番号：T14）の製造販売中止に伴い、代替容器に変更させていただきますので、ご案内いたします。なお、容器変更により採血量が2.7mLに変更となります。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬白

\*\*\*\*\* 記 \*\*\*\*\*

### ■対象項目／変更内容

- 7210 血小板第4因子（PF4）
- 7235 β-トロンボグロブリン（β-TG）

| 変更内容 | 新  | 旧  |
|------|--|--|
| 容器番号 | T14  |  |
| 容器名称 | β-TG、PF-4 用容器  |  |
| 採取容器 | <br>[アルミ包装] |  |
| 採血量  | 2.7 mL   | 4.5 mL   |
| 添加剤  | テオフィリン、アデノシン、ジピリダモール、クエン酸、クエン酸 Na  | 同左   |
| 保管方法 | 冷蔵、遮光  | 同左   |
| 有効期間 | 容器および外袋表示  | 同左   |

### ■ 開始期日


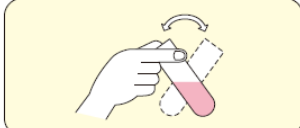
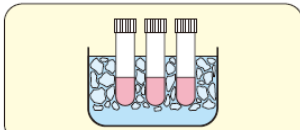

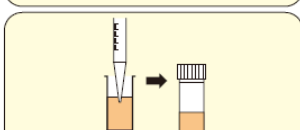
令和2年 10月31日（土）受付分より

※上記期日以降も旧容器をお使いいただけますが、  
旧容器の有効期限は令和2年 11月30日（月）となります。

裏面につづく

20-1138

## ■ 採血方法と変更点

|            |  |   |
|------------|--|---|
| 操作を2分以内に行う |  <p>4.5mL<br/>↓<br/>(変更後)<br/>2.7mL</p> | <p>20ゲージ（19～23ゲージ）の針を用いたポリプロピレン注射器により、（組織から組織因子の混入を避けるため）2シリンジ法で初めの血液2mLを捨て、次の血液4.5mLを採取して下さい。真空採血管、カテーテルおよび他の方法は使用しないで下さい。また、できれば止血帯も使用しないで下さい。10mL以上の採血は避け、できるだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取して下さい。</p> |
|            |   | <p>予めキャップを開け冷却しておいた専用容器に採取した血液4.5mLを移し、ゆっくり2～3回回転混合して下さい。指定のサンプリングチューブ以外は使用しないで下さい。サンプリングチューブは振とうさせないで下さい。</p>  |
|            |   | <p>採血管を速やかに砕氷と水の入ったラックに戻し、冷却して下さい。砕氷水の水面よりチューブ中の血液の液面が下になるようにして下さい。角氷は使用しないで下さい。</p>  |
|            |   | <p>砕氷水に少なくとも15分間静置後、採取血液を2,500×gで20分間、2～8℃で遠心分離して下さい。（下表に2,500×gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。）1時間以内に必ず冷却下で遠心分離して下さい。</p>  |
|            |                                        | <p>上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで0.5mL*検体容器へ採取して下さい。検体は必ずプラスチック製試験管に入れて凍結保存して下さい。（1ヶ月安定）血餅に近い部分よりの採取は絶対に避けて下さい。</p>  |

採血量を4.5mL→2.7mLに変更  
(検体提出量は変更なし)

以上